

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2019年8月13日

【四半期会計期間】 第116期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 日和産業株式会社

【英訳名】 NICHIIWA SANGYO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 中 澤 敬 史

【本店の所在の場所】 神戸市東灘区住吉浜町19番地の5

【電話番号】 (078)811-1221

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長・総務部長 安 井 秀 夫

【最寄りの連絡場所】 神戸市東灘区住吉浜町19番地の5

【電話番号】 (078)811-1221

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長・総務部長 安 井 秀 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第115期 第1四半期 連結累計期間	第116期 第1四半期 連結累計期間	第115期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	10,127,512	10,306,953	41,128,950
経常利益 (千円)	249,362	91,222	426,235
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	170,220	63,308	254,428
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	190,730	16,731	249,870
純資産額 (千円)	17,390,624	17,369,934	17,449,763
総資産額 (千円)	28,487,499	28,422,178	28,381,526
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	8.81	3.28	13.17
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	61.0	61.1	61.5

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や国内需要の増加による企業業績や個人消費の高まりなど、緩やかな回復傾向が見られますが、米中貿易摩擦や不安定な日韓関係などによる企業業績への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しております。

配合飼料業界におきましては、主原料である米国産とうもろこしは、南米産とうもろこしの作付面積の増加や豊作見通しにより価格は軟調に推移したものの、5月後半からの米国の長雨により作付が大きく遅れたため価格は急騰しております。副原料である大豆粕は、米中貿易問題、アフリカ豚コレラの影響で中国の大豆需要が減少した事により価格は軟調に推移したものの、米国の長雨の影響で価格は上昇しました。外国為替相場につきましては米国の金利が引き下げられた事から緩やかに円高に推移しました。

このような状況のなか、当社は4月に配合飼料価格の値下げを行いました。

畜産物市況につきましては、鶏卵相場は低迷が続いており、鶏肉相場は生産量の増加により軟調に推移しました。低迷していた豚肉相場は、生産量の減少により回復の兆しを見せております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は103億6百万円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は58百万円（前年同期比73.5%減）となり、経常利益は91百万円（前年同期比63.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は63百万円（前年同期比62.8%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

飼料事業

売上高は99億2百万円（前年同期比1.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は90百万円（前年同期比75.1%減）となりました。

畜産事業

売上高は4億4百万円（前年同期比12.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は34百万円（前年同期のセグメント損失（営業損失）は7百万円）となりました。

資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ40百万円増加し、284億22百万円となりました。これは、主に現金及び預金が1億4百万円、原材料及び貯蔵品が34百万円減少したものの、有形固定資産が1億98百万円増加したことによるものです。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億20百万円増加し、110億52百万円となりました。これは、主に賞与引当金が49百万円増加したことによるものです。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、173億69百万円となりました。これは、主に利益剰余金が33百万円、その他有価証券評価差額金が34百万円減少したことによるものです。

(2)経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は19百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	79,591,000
計	79,591,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,830,825	20,830,825	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であり ます。
計	20,830,825	20,830,825		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年6月30日		20,830,825		2,011,689		1,904,186

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である2019年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,518,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,306,300	193,063	
単元未満株式	普通株式 5,825		
発行済株式総数	20,830,825		
総株主の議決権		193,063	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権20個)含まれております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 日和産業株式会社	神戸市東灘区住吉 浜町19-5	1,518,700		1,518,700	7.29
計		1,518,700		1,518,700	7.29

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,112,531	9,008,215
受取手形及び売掛金	2 9,926,891	2 9,977,574
商品及び製品	172,197	164,273
仕掛品	343,880	336,192
原材料及び貯蔵品	2,056,136	2,022,000
その他	320,787	310,060
貸倒引当金	144,851	149,637
流動資産合計	21,787,573	21,668,677
固定資産		
有形固定資産	4,484,906	4,683,867
無形固定資産	11,324	10,816
投資その他の資産		
長期貸付金	1,675,095	1,708,331
破産更生債権等	1,429,426	1,429,306
その他	796,006	762,178
貸倒引当金	1,802,806	1,841,000
投資その他の資産合計	2,097,721	2,058,816
固定資産合計	6,593,952	6,753,500
資産合計	28,381,526	28,422,178
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 5,248,410	2 5,243,131
短期借入金	4,269,000	4,269,000
未払法人税等	59,275	31,313
賞与引当金	100,841	150,694
その他	2 1,146,068	2 1,249,640
流動負債合計	10,823,595	10,943,779
固定負債		
長期未払金	84,240	84,240
退職給付に係る負債	23,927	24,223
固定負債合計	108,167	108,463
負債合計	10,931,763	11,052,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,011,689	2,011,689
資本剰余金	1,904,186	1,904,186
利益剰余金	13,599,760	13,566,508
自己株式	295,760	295,760
株主資本合計	17,219,875	17,186,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,926	190,559
繰延ヘッジ損益	4,961	7,248
その他の包括利益累計額合計	229,888	183,311
純資産合計	17,449,763	17,369,934
負債純資産合計	28,381,526	28,422,178

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	10,127,512	10,306,953
売上原価	9,235,010	9,605,514
売上総利益	892,501	701,438
販売費及び一般管理費	672,124	643,092
営業利益	220,376	58,346
営業外収益		
受取利息	8,776	8,005
受取配当金	11,155	12,000
売電収入	15,499	15,189
その他	20,435	24,359
営業外収益合計	55,867	59,555
営業外費用		
支払利息	14,517	14,016
売電費用	8,555	8,202
その他	3,809	4,460
営業外費用合計	26,881	26,679
経常利益	249,362	91,222
税金等調整前四半期純利益	249,362	91,222
法人税等	79,142	27,914
四半期純利益	170,220	63,308
親会社株主に帰属する四半期純利益	170,220	63,308

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	170,220	63,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,311	34,367
繰延ヘッジ損益	24,821	12,209
その他の包括利益合計	20,509	46,577
四半期包括利益	190,730	16,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,730	16,731
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

金融機関等からの借入金に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
	5,000千円	4,500千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	413,020千円	365,573千円
支払手形	2,984千円	2,079千円
その他	14,249千円	3,266千円
(設備関係支払手形)		

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	94,042千円	100,543千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	96,560	5.00	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	96,560	5.00	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

- 2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
 後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益計 算書計上額 (千円) (注2)
	飼料事業 (千円)	畜産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	9,768,707	358,804	10,127,512		10,127,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	192,448		192,448	192,448	
計	9,961,156	358,804	10,319,961	192,448	10,127,512
セグメント利益又は損失()	365,071	7,779	357,292	136,915	220,376

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額 136,915千円には各報告セグメントへ配賦していない費用(管理部門に
 係る費用等)108,590千円が含まれております。

- 2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益計 算書計上額 (千円) (注2)
	飼料事業 (千円)	畜産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	9,902,204	404,749	10,306,953		10,306,953
セグメント間の内部売上高 又は振替高	177,485		177,485	177,485	
計	10,079,689	404,749	10,484,438	177,485	10,306,953
セグメント利益	90,841	34,835	125,676	67,329	58,346

(注)1 セグメント利益の調整額 67,329千円には各報告セグメントへ配賦していない費用(管理部門に係る費用
 等)78,519千円が含まれております。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	8円81銭	3円28銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	170,220	63,308
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	170,220	63,308
普通株式の期中平均株式数(株)	19,312,104	19,312,090

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年 8月13日

日和産業株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小 市 裕 之 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	葉 山 良 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日和産業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日和産業株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。